

～海外情報～

2012年4月4日 全2頁

## 中国：QFII と RQFII の投資枠を大幅に拡大

経済調査部  
齋藤尚登

証券の対外開放が大きく進展も、さらなる開放余地は大

## [要約]

- 中国当局は、2012年4月3日に、QFIIの投資認可額上限を従来の300億米ドルから800億米ドルに拡大すると発表した。投資上限拡大により、QFII資格と投資額の認可ペースが加速すると期待される。
- 今回の投資認可額上限800億米ドルが全て使用され、現在のA株の資産構成比74.5%が維持されるとの前提でも、A株流通時価総額に占めるQFIIの保有比率は3.6%程度にしかない。当局は、QFIIがファンダメンタルズに基づく長期投資を行い、上場会社の質的向上にも貢献していると評価するが、その効果を最大限発揮させるには、さらに多くのQFIIによる投資が不可欠である。
- 域外で保有される人民元を中国の証券金融商品に投資するRQFIIの投資認可額上限は、200億元から700億元に拡大される。人民元貿易決済などで、域外で保有される人民元は急増しており、運用手段の一つを提供することがRQFIIの目的である。人民元の「周辺化」の動きは加速しようとしている。

## QFIIの投資認可額上限は300億米ドル⇒800億米ドルに拡大

2007年12月以来の  
QFII投資認可額上限  
の引き上げ

中国証券監督管理委員会、中国人民銀行、国家外貨管理局は、2012年4月3日に、QFII（Qualified Foreign Institutional Investors＝適格海外機関投資家）の投資認可額上限を従来の300億米ドルから800億米ドルに拡大すると発表した。QFIIは中国の証券・金融分野の対外開放の目玉として2002年12月に導入されたもので、認可を受けた外国機関投資家に対して、国内人民元建証券金融資産への投資を制限付きながら認めるものである。投資対象は、人民元建の取引所上場株式（含む新株発行）、上場債券、証券投資ファンド、上場ワラント、中国証券監督管理委員会が認めるその他金融商品となっている。投資認可額は、制度導入当初の40億米ドルから、2005年9月に100億米ドル、2007年12月には300億米ドルとなり、今回の規制緩和で一気に800億米ドルへ拡大された。投資上限拡大により、QFII資格と投資額の認可ペースが加速すると期待される。

A株流通時価総額に占  
めるQFIIの保有比率  
は足元1.1%

足元のQFII資格と投資額の認可状況を見ると、23カ国・地域の158の機関投資家がQFII資格を認可され、うち129の機関投資家が245.5億米ドルの投資枠（元本ベース）を認められている。中国証券監督管理委員会によると、2012年3月23日時点でQFII口座の資産規模（時価）は2,656億元、資産別構成比は株式74.5%、債券13.7%、銀行預金9.6%、その他2.2%となっている。A株流通時価総額に占めるQFIIの保有比率は僅か1.1%にすぎない計算である。

さらなるQFIIの拡大  
が不可欠

今回の投資認可額上限 800 億米ドルが全て使用され、現在の A 株の資産構成比 74.5%が維持されるとの前提でも、A 株流通時価総額に占める QFII の保有比率は 3.6%程度にしかならない。当局は、QFII がファンダメンタルズに基づく長期投資を行い、上場会社の質的向上にも貢献していると評価するが、その効果を最大限発揮させるには、さらに多くの QFII による投資が不可欠である。今回の規制緩和は一つの通過点にすぎないであろう。QFII の大胆な拡大をはじめ、長期投資を行う本格的な機関投資家の育成の重要性は益々高まっている。

### RQFII の投資認可額上限は 700 億元に拡大

同時に、中国証券監督管理委員会、中国人民銀行、国家外貨管理局は、RQFII (Renminbi Qualified Foreign Institutional Investors) の投資認可額上限を従来の 200 億元から 700 億元へ拡大することも発表している。

RQFII は 2011 年 12 月  
にテスト開始、早くも  
投資額上限を拡大

QFII が域外から持ち込まれた外貨を人民元に両替して中国の金融証券市場に投資するのに対して、RQFII は中国域外で保有されている人民元をそのまま中国に投資する点が異なる。人民元での貿易決済などによって、域外で保有される人民元は急増しており、その運用手段の一つを提供することが RQFII の目的である。初期段階では、中国の証券会社・ファンド管理会社・投信委託会社の香港子会社が投資主体となり、投資額の 80%以上を中国の債券市場に投資する。この RQFII は 2011 年 12 月にテストが始まったばかりであるが、早くも投資額が拡大された格好である。

2012 年 3 月 2 日付けの大和総研・海外情報「中国：資本取引自由化のロードマップ」では、香港での人民元貿易決済の拡大や人民元での運用手段拡充に言及したが、人民元の「周辺化」の動きはより加速しようとしている。

以上